

松戸保健所感染症情報

(2012年8月10日配信)

(感染症トピックス)

2012年 8月分

◇管内感染性発生状況(7月分)

- 2類感染症 結核 6件
- 3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症3件
- 4類感染症 レジオネラ症 1件
- 5類感染症 後天性免疫不全症候群 1件、梅毒 2件、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1件

【感染症エクスプレス@厚労省】Vol.60(2012年8月03日)より

◇結核

・平成23年結核登録者情報調査年報集計結果(概況)が公表されました。

患者数は減少傾向にあります。いまだ2万2000人を超える新規患者が発生しています。結核は「過去の病気」ではなく、我が国の主要な感染症です。診断の遅れが感染拡大につながる恐れがありますので、医療者の皆様には、長引くせき等の症状を訴える方が受診された際、結核の可能性も視野に入れた診療をお願いいたします。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou03/11.html>

◇ポリオ

・4種混合ワクチン(ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオワクチン)が薬事承認されました(2012年7月27日)
・予防接種実施規則の改正が行われました(2012年7月31日)

<施行通知> <http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T120802H0010.pdf>

<別紙> <http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T120802H0011.pdf>

・第4回不活化ポリオワクチンの円滑な導入に関する検討会が開催されました。(2012年8月2日)

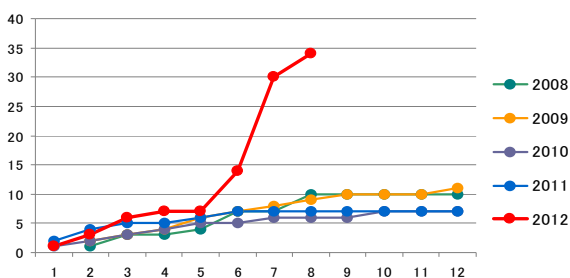
<検討会資料> <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002gxwd.html>

<ポリオワクチン> <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/polio/>

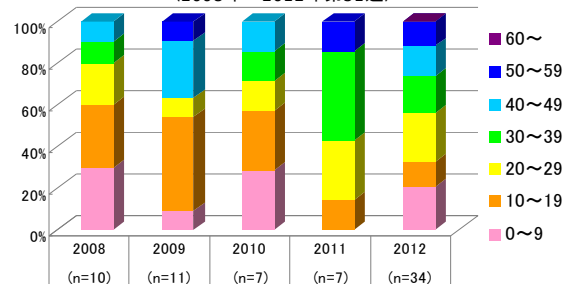
1 風しん - 報告が続く - 千葉県感染症情報より <http://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/c1231.pdf>

全国的に大きな流行が続いているが、千葉県においても第31週の診断例が6例報告され今年の累計は34例となった。性別では7割以上が男性であり、年齢群別では20~29歳が最も多く24%を占める。

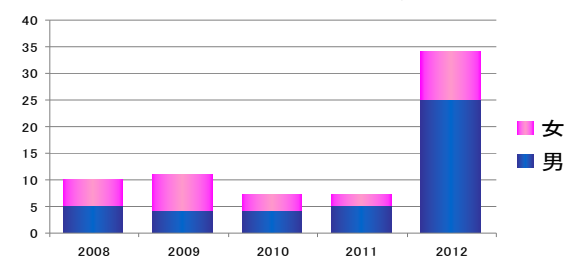
風しん/月別累計報告数(2008年~2012年第31週)



風しん/年別・患者年齢群別報告数(2008年~2012年第31週)

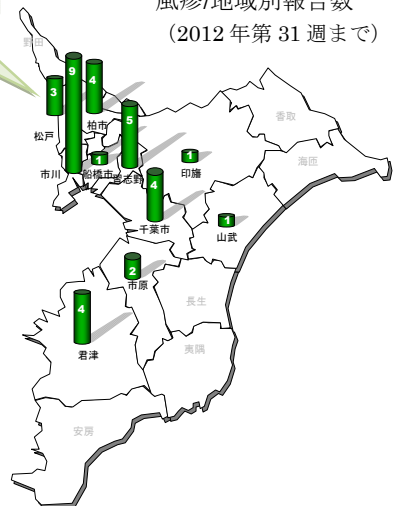


風しん/男女別報告数(2008年~2012年第31週まで)



松戸管内：3件

風疹/地域別報告数(2012年第31週まで)



厚生労働省:

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou21/h24-0719-01.html>

風しん対策の更なる徹底について(依頼)健感発0719第2号(平成24年7月19日)

国立感染症研究所: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/ha/rubella.html>

日本産婦人科医会: 妊婦さんが風疹に罹らないようにと注意を呼び掛けています。

風疹と母子感染 2012年版 ~2012年の風疹再流行にあたって~

<http://www.jaog.or.jp/JAPANESE/jigyoo/SENTEN/kouhou/fushin1207.htm>

2 日本脳炎 国立感染症研究所

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/je-m/2075-idsc/yosoku/sokuhou/2496-je-yosoku-rapid/>

ブタの日本脳炎抗体保有状況 - 2012年速報第4報 - (2012年8月7日現在)

予防接種を受けていない者、乳幼児、高齢者は蚊に刺されないようにするなど注意が必要。本年度の日本脳炎定期予防接種においては、3~4歳と第1期接種が完了していない小学2~4年生(年度内に8~10歳になる小児)に積極的勧奨が行われているが、日本脳炎ウイルスの活動が活発な地域に居住する者で接種回数が不十分な者においても日本脳炎ワクチンの接種が望まれる。

【予防接種: [国立感染症研究所HP](#) / [厚生労働省HP](#)】

松戸保健所管内の感染症発生動向（最近5週）

● 管内 ▲ 県全体 警報基準値 終息基準値

マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は基幹定点のみの集計。RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は警報基準値等の設定なし。

